

『テニピン』実施レポート
 (日本テニス協会ホームページに掲載予定)

学校名	加古川市立志方西小学校	実施日	1～2月
担当教員名	山本 颯	実施学年/人数	6年/20人
学習指導計画 (簡易で可)	第1時…オリエンテーション、試しのゲーム 第2時～第5時…ボール・用具慣れ、一斉練習、課題別練習、ゲーム		
授業の実際 (授業の様子)	ワンバウンドで、相手のコートに返すためには、落下点を予想して先回りする必要があるが、なかなか難しいようだった。ダイレクトで返してしまったり、回り込みすぎてツーバウンドしてしまったりする姿も多く見られた。しかし、うまくいかないながらも、児童は試行錯誤し、上達を実感しているようだった。とても楽しそうに取り組んでいた。 ※ホームページに掲載可能な写真がありませんでした。		
授業づくりの工夫 指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、フォアハンドでラリーを続けることから始めた。 ・次に、バックハンドの練習を行った。バックハンドは力が伝わりにくく、狙ったところに打つことも難しいと児童が感じていた。 ・最後に、試合での作戦を立てた。「バックハンドで打たないためには、落下点をすばやく判断して先回りする。相手のバックハンド側にボールを打つ。」など。 		
感想・質問 今後の実施予定等	テニピンは、どの児童でも「できる」が味わえ、上達も早い良い教材だと感じた。何より、児童たちの楽しそうに取り組む姿を見ることができる。 今年度は一部の学年しか実施できなかったのですが、来年度は全学年で実施していきたい。		